



痛みの治療外来 (ペインクリニック)

阿蘇中央病院麻酔科

医師 坂梨祐司

痛みは、体の異常を知らせるサインとして必要なものですが、病気が治ったにもかかわらず長期にわたって痛みが残る場合があります。また、病気自体を治療できないためにいつまでも持続する痛みもあります。

これらを慢性疼痛といいますが、夜も眠れず、日常生活に支障がでることもあるため治療が必要です。麻酔科では、手術のときの麻酔管理だけでなく、痛みのある患者さんのための痛みの治療外来(ペインクリニック)を行っています。

ペインクリニックで扱う痛みには、帯状疱疹(帯状疱疹後神経痛)、複合性局所疼痛症候群、三叉神経痛、癌性疼痛などがあります。

これらのなかで、帯状疱疹は水疱瘡のウィルスが何十年も背骨の近くの神経の中に潜んでいて、体の抵抗力が落ちた時に再び増殖して神経を伝って皮膚まで到達し、体や手足、頭部などに帯状の発疹や水疱をつくり、ひりひりした痛みがおこる病気です。皮膚の発疹やただれはしばらくすると治りますが、ひりひり、ずきずきしたり針で刺されるような痛みが数ヶ月たっても持続する場合があります。これを帯状疱疹後神経痛といいます。帯状疱疹後神経痛に移行してしまうと治療は難しく、数年以上痛み苦しめられる場合もあります。帯状疱疹は皮膚科で治療を受けることが多いのですが、脊髄から皮膚までの神経が侵されているため、神経や痛みに対する治療も早期に行うことが重要です。

治療で大事なことは早期に

痛みをとってやることです。ペインクリニックでは主に硬膜外ブロックや星状神経節ブロックという神経ブロック(局所麻酔薬で一時的に神経を麻痺させる方法)を行います。

痛みには、痛み自体が痛みを悪化させるという悪循環を形成する特徴があり、神経ブロックで痛みをとってやることにより、悪循環を断ち切り、徐々に痛み自体を軽減させます。また、近年、慢性疼痛には多くの物質が関与していることが明らかになってきました。そのような機序が解明されるにつれて、単なる痛み止めではなく、その原因を治療するような薬物療法もできるようになってきました。

ペインクリニックでは、これらの痛みのほかに、突然起こる顔半分(顔面麻痺)や突然耳が聞こえなくなる突発性難聴などに対してはブロックによる治療を行っていますので、このような症状でお悩みの方はご相談ください。

無農薬農園オーナー募集 阿蘇市ふれあい農園

初めての方も大歓迎！スタッフが常駐して指導や要望に応じます。

- ・農薬を一切使用しません。開園から18年間農薬を使用していない健全な土壌です。
- ・貸付料は1区画(15区)9,500円です。2区画18,000円、3区画27,000円。
- ・苗や種の販売もしています。
- ・頻繁に農園に来れない場合でも定期的に農園の様子をお知らせします。また、草取り・植え付け作業も承ります(別途料金必要)。
- ・併設のふれあい館をご自由にお使いいただけます。



今の時期に植えるとたくさんの夏・秋野菜が採れますよ！

〔申し込み先〕阿蘇市ふれあい農園 TEL・FAX 34-1972
ホームページ <http://www.aso.ne.jp/fureai>